

立命館経済学 第35巻総目次(1986年度)

論 説	号 頁 頁
戦後日本の統一戦線運動……………塩田 庄兵衛	1…1(1)— 43(43)
京都市産業経済の趨勢と問題点(上)……………若林 洋夫	1… 44(44)— 90(90)
——「都市衰退」傾向諸相の分析——	
産業合理化と労働改革(上)……………三好 正巳	2…1(181)— 22(202)
京都市産業経済の趨勢と問題点(下)……………若林 洋夫	2… 23(203)— 72(252)
——「都市衰退」傾向諸相の分析——	
公的援助・直接投資と発展途上国の経済	
成長……………本田 豊	3…1(339)— 25(363)
産業合理化と労働改革(下)……………三好 正巳	3… 26(364)— 54(392)
女性研究者運動の歴史と課題……………坂東 昌子	4…3(513)— 26(536)
労働運動の現段階と「未組織の組織化」	
問題……………大木 一訓	4… 27(537)— 42(552)
——一つの覚え書き——	
地域生協の課題……………田井 修司	4… 43(553)— 64(574)
——事業経営の視点から——	
産業構造の「転換」と労働組合運動の課	
題……………戸木田 嘉久	4… 65(575)— 86(596)
——多国籍企業化・ME「合理化」とも	
関連して——	
職場労使関係と労働組合運動……………三好 正巳	4… 87(597)—111(621)
地方財政改革「運動」の変化とその背景…坂野 光俊	4…112(622)—154(664)
核兵器廃絶の展望と日本の原水爆禁止運	
動……………安齋 育郎	4…155(665)—183(693)
障害者共同作業所づくり運動と福祉政策…上掛 利博	4…184(694)—209(719)
プリントの統計学理論について……………有田 正三	5…3(753)— 18(768)
初期の「統計法」の一典型……………浦田 昌計	5… 19(769)— 48(798)

——1897年のハンガリー統計局法——

H. グローマンの統計方法論……………	長 屋 政 勝	5… 49(799) — 85(835)
線型回帰分析の推定誤差と係数の信頼性…	稲 葉 和 夫	5… 86(836) — 110(860)
サービス経済論の系譜的展望……………	鈴 木 登	5… 111(861) — 163(913)
——その理論と計測をめぐる諸問題——		
経済発展論(上)……………	小 野 進	5… 164(914) — 221(971)
——A・ガーゼンクロンとA・マージ ャルそして日本の経済発展への適用 とその限界——		
ケインズ経済学における理論と政策……………	松 川 周 二	5… 222(972) — 250(1000)
——その形成と展開についての覚書——		
ケインズの道德哲学と賢人思想……………	大 西 広	5… 251(1001) — 290(1040)
——『若き日の信条』におけるケインズの 「反省」——		
輸出・輸入物価に対する為替変動の寄与 度・寄与率……………	関 彌三郎	6… 1(1053) — 16(1068)
経済発展論(下)……………	小 野 進	6… 17(1069) — 58(1110)
——A・ガーゼンクロンとA・マージ ャルそして日本の経済発展への適用 とその限界——		
外国為替について……………	岩 田 勝 雄	6… 59(1111) — 78(1130)

研 究

世界市場における価値法則と国際価値論 (Ⅱ. 完)……………	杉 本 良 雄	2… 73(253) — 94(274)
——木下悦二教授の所説の検討——		
「福祉国家」の危機と社会保障政策の転 換……………	横 山 寿 一	3… 55(393) — 74(412)
独占的商業資本の運動形態……………	西 原 誠 司	3… 75(413) — 100(438)

研究ノート

T. ギルバートの救貧法改革論(1781年)		
------------------------	--	--

について……………上掛 利博 3…101(439)—130(468)

資料

日本資本主義確立期の資本家名簿(9)……………後藤 靖 1… 91(91)—125(125)

日本資本主義確立期の資本家名簿(10)……………後藤 靖 2… 95(275)—130(310)

日本資本主義確立期の資本家名簿(11)……………後藤 靖 3…131(469)—161(499)

紹介

Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」

への道程』(1)……………磯部 智也 1…126(126)—165(165)

Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」

への道程』(2)……………磯部 智也 2…131(311)—156(336)

Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」

への道程』(3)……………磯部 智也 6… 79(1131)—114(1166)

書評

藤岡惇著『アメリカ南部の変貌——地主

制の構造変化と民衆——』……………宮野 啓二 3…162(500)—170(508)

海外留学記

パリの変貌——二十年ののち——……………奥村 功 1…166(166)—180(180)

塩田庄兵衛教授退任記念号

社会・労働運動を学んで40年……………塩田 庄兵衛 4…210(720)—226(736)

塩田庄兵衛教授略歴・主要著作目録…………… 4…227(737)—240(750)

関彌三郎教授退任記念号

日本の統計と社会統計学……………関 彌三郎 5…291(1041)—297(1047)

関彌三郎教授略歴・主要著作目録…………… 5…298(1048)—301(1051)

共同研究室

1986年度第1回研究会「日米経済のマク

ロ計量モデル分析」……………	稲葉 和夫	2…157(337)—157(337)
1986年度第2回研究会「戦間期の日本帝 国主義と『満州』」……………	松野 周治	2…157(337)—157(337)
—いくつかの数値をもとに—		
1986年度第3回研究会「貿易パターンの 理論的分析」……………	阿部 顕三	2…157(337)—157(337)
1986年度第4回研究会「あるカリフォル ニア作家の全体像を追って」……………	辻井 榮滋	2…157(337)—157(337)
1986年度第5回研究会「放射線と人類 —自然放射線, 人工放射線利用, 原 発, そして核戦争」……………	安齋 育郎	2…157(337)—157(337)
1986年度第6回研究会「独占的商業資本 の運動形態について」……………	西原 誠司	3…171(509)—171(509)
1986年度第7回研究会「アメリカ暮ら し」……………	日高 正好	6…115(1167)—115(1167)
1986年度第8回研究会「労働『改革』を めぐる理論状況」……………	三好 正巳	6…115(1167)—115(1167)
1986年度第9回研究会「生活様式の経済 理論に向けて」……………	角田 修一	6…115(1167)—115(1167)
1986年度第10回研究会「戦後スポーツ史 の展開とスポーツ科学研究の推移」……………	山下 高行	6…115(1167)—115(1167)
1986年度第11回研究会「アメリカ経済と S D I」……………	藤岡 惇	6…115(1167)—117(1169)

『立命館経済学』第35巻第3号の通し頁に誤りがありました。お詫びして以下のように訂正いたします。

誤	正
(311)	(469)
以下順おくりで	
(341)	(499)
まで。	